

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 6月12日

【評価実施概要】

事業所番号	3870103250		
法人名	株式会社 ユニケア		
事業所名	グループホーム クレセント馬木		
所在地	松山市馬木町524-1 (電話) 089-978-4200		
管理者	大野 千鶴		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	松山市持田町3丁目8-15		
訪問調査日	平成19年5月22日	評価確定日	平成19年10月25日

【情報提供票より】 (19年4月18日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15年 4月 10日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	23 人	常勤12人, 非常勤10人, 常勤換算6人	

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	(無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	300 円
	夕食	300 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(3) 利用者の概要(4月18日現在)

利用者人数	27 名	男性	4 名	女性	23 名
要介護1	6 名	要介護2	6 名		
要介護3	9 名	要介護4	5 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83 歳	最低	70 歳	最高	97 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定 あり (なし)	指定認知症対応型通所介護
届出 あり (なし)	短期利用型共同生活介護
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

静かな住宅地にある2階建てのホームである。関連施設に病院があり、特にリハビリテーションに力を入れ、1階のリハビリテーション室では定期的に母体病院の理学療法士や作業療法士による訓練が行われ、利用者の自由な使用も可能である。ホームは開設後4年経ち、職員は利用者の出来ることや思いを大切にしながら介護にあたり、温かい馴染みの関係を築いている。また、職員は地域の同業者と見学し合うことで学びを深め、学習を日々のケアに役立てている。家族や地域との交流や関係づくりにも熱心である。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)	外部評価の意義を十分理解し、前回の評価での改善課題に取り組み、利用者によりよいケアを提供するよう努めている。
▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)	運営者、職員ともに自己評価、外部評価の意義を理解し、評価をきっかけに日々のケアを振り返り、改善に向けて取り組んでいる。
▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)	市の担当者と連絡を取り、運営推進会議を開催している。会議ではホームの概略、ホームの紹介、運営推進会議の意義などについて話し合い、日々のケアに活かしている。今後、この会議を継続的に開催することを期待する。
▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)	家族の意見や苦情はホーム内に意見箱を設けたり、苦情の窓口を文書に明記し、説明を加えることで対応している。家族の意見などをホームの運営に活かす努力もしている。
▼ 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)	ホームの行事に近所の人々にも参加していただいたり、菜園でつくった野菜を近所におすそ分けする等して、地元との交流に努めている。ホームは地域の自治会にも加入している。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 クレセント馬木

(ユニット名) Aユニット

記入者(管理者)
氏名 大野 千鶴

評価完了日 平成19年 6月12日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 開設時に作成したものであり、地域の中で。を考えて作られていない。 (外部評価) 平易で分かりやすい、事業所独自の理念である。しかし、利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けることを支援する点で、物足りなさがある。	※	地域の中でのサービスを考慮した新しい理念を考える時期にきていると思う。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念が簡単すぎて、すでにクリア出来ていると思われる。 (外部評価) 管理者と職員は理念を十分理解し、日々のケアとも関連づけながら、利用者の支援を行っている。	※	利用者が地域の中で暮らししていくことを念頭におき、さらに分かりやすい理念となるよう、全職員で検討することを期待する。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 理念を、様々に提示しているが、すべての家族が知っているかどうか疑問である。		もう1段階レベルアップした理念を考えたい。
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 定期的な地域交流の場を設けており、気軽な付き合いが出来るよう努めている。また、日常の挨拶や畑でとれた野菜のおすそ分け等行っている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域行事では、夏祭り、運動会、秋祭り等、地域の方々にも参加していただき、交流に努めている。 (外部評価) ホームの行事では近くの小学校からいすを借りたり、近所の人々に参加してもらったり、菜園でつくった野菜をおすそわけする等、地元との交流に努めている。地域の自治会にも加入している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域の方々を交えた勉強会について検討中である。	※	リハビリ室の開放、認知症のケア、予防の仕方など
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 出来ていること、また出来ていないことを十分に理解し今後の改善に努めている。 (外部評価) 運営者、管理者、職員は自己評価及び外部評価の意義を理解し、評価をきっかけに今までのケアを振り返り、改善に取り組んでいる。		
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 現在、1回しか行われておらず、継続されていない。 (外部評価) 運営推進会議の意義や必要性を十分理解し、会議を1回行っているが、その後、開催していない。	※	2ヶ月に1度は行っていけるよう計画し実行していきたい。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 迷うこと、困ることがある際には市の担当者に聞き、実行している。 (外部評価) ホームは運営推進会議の開催にあたり、市の担当者と連絡を取ることはあるが、その他のことでの行き来はない。	※	ホームの運営やケアの質向上に関して、市の担当者に相談する等の働きかけをホームとして積極的に行っていくことを期待する。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 前例はないが皆が地域権利擁護事業、また成年後見制度を理解しており、必要のある方には活用出来る様支援している。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員に周知徹底し、実行できている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 事前に十分な説明を行っており、理解、納得を得ている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 常に利用者の声を聞き、問題への解決に努めている。また、重要事項説明書等には外部者への連絡先等も示している。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会時や、定期的な家族様への便りを通じ個々の報告を行っている。 (外部評価) 利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理等の報告は家族の面会時や毎月発行のホーム便りを家族に送る時に行っている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情受付窓口として意見箱の設置により、意見、苦情の声を聞き改善していけるよう努めている。 (外部評価) ホーム内に意見箱を設置し、また苦情対応窓口を管理者および公的機関とする旨、重要事項説明書に具体的に明記し、説明している。また、家族等の意見はホームの運営に反映させている。		
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 定期的にミーティングを行っており職員の声を取り入れている。また、改善提案書を一人一人に書いてもらい、より良い施設作りに努めている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 常勤、パートの確保により勤務状態は確保されている。勤務表もそれぞれ無理なく仕事できるように1週間事に希望を聞き入れ作成している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 定期的に悩みを聞き入れているがやむを得ず場合においては利用者への負担を最小限に抑えられるよう配慮している。 (外部評価) 職員の異動は比較的少ないが、異動時は新たな職員が1週間位見習い勤務することで利用者への影響を少なくする等の工夫をしている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 個々に適した勉強会への参加や講習会への呼びかけを行っている。 (外部評価) 外部の研修会へ職員が参加できるよう声かけをしたり、月1回、3ユニット合同での勉強会を行うことで、職員の学習を促している。	※	地域の同業者との交流や勉強会をもつことを今後の課題としている。
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 地域の同業者と互いに施設見学を行いネットワークを持ち、お互いの事業に協力しあっている。 (外部評価) 地域の同業者と互いに見学をし合う中で、学習を深め、学習したことをホームのケア向上に役立てている。	※	ますます地域の同業者との交流や勉強会をもつことを今後の課題としている。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 昼寝スペースの確保、また業務が重複しないよう配慮している。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 個々の努力への声掛けや、個々に合わせた勤務体制をとることで向上心が持てる様努めている。職員が次々と資格を取っていける様、支援を行ってくれる為、向上心をもって働いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 初期の段階で利用者、家族の声を聞き、不安なことは何か、求めていることは何か等聞き入れており、利用者の声に出来る限り答えられるよう配慮している。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前に話を聞くことにより、求めているもの等聞き入れており、本人の要望や求めているものとの違いを把握した上で受け止める努力をしている。		
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 状態を把握し、何が必要かを見極めサービスを提供している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 家族と相談し、本人の為に、家族、職員がどう動くべきかを状態をみながら調整している。 (外部評価) 法人施設を総括する事務部長が利用者を入居前に訪問し、馴染みの関係づくりに努めている。また、入居後は自宅での暮らしぶりを参考に、ホームに馴染めるよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) ともに生活をしていく中で、本人の得意分野、苦手な分野を把握し、上手に教えてもらったり助言したりしながらお互いの必要性が感じられるようにす (外部評価) 職員は利用者から料理法、菜園づくり、ことわざ等を学んだり、一緒にトランプを楽しむ中で、共に支えあう関係を築き、仲良く暮らしている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 相互の情報を交換し、相談、時間を共有する等工夫して関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 面会時は、互いに自由な時間を過ごしていただき、これまでの関係を継続できるよう配慮している。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 電話や便りを利用し情報交換を行い、今までの関係が途切れないよう支援している。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) レクリエーションへの参加の呼びかけ等を行い、孤立させず共同生活への理解を高めている。		
32		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 契約終了後でも現在の状態を把握する為に訪問したり電話するなど、互いに連絡を取り合っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) カンファレンスを行うことにより、個々の生活レベル、また希望に添える生活をしていただけるよう配慮している。 (外部評価) 利用者の思いや希望を日々の暮らしの中で把握するように努め、職員が把握した情報は申し送り帳や個人記録、情報記入用紙に記載し、全職員で共有し、検討している。		
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) アセスメントシート、センター方式等を活用し日常生活でも本人、家族、友人から情報収集を行い、それを職員みんなが共有出来るよう記録し把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 日々の記録の活用や、職員間で連帯を図り把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 本人、家族さん、職員、ケアマネージャー等の声を聞きサービスを計画し、よりよい生活が出来る様カンファレンスをしっかり行った上で計画作成している。 (外部評価) 介護計画は利用者や家族の希望を聞き、職員、ケアマネージャー等の声も入れてカンファレンスを行い、作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 定期的な計画の見直し、また急変時にはカンファレンスを行い、新たなプランを作成している。 (外部評価) 介護計画は利用者や家族、職員などの声を大切にしながら定期的に見直している。利用者の急な状態変化時は、その都度見直すことにしている。		
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 利用者の日々の生活で気づいたこと、うまくいったこと等は記録し、計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) リハビリ室や特浴、畑などがあり、その時の要望に合わせて支援している。 (外部評価) 多種類のサービスの提供ではなく、利用者と家族の暮らしを守るための多様な支援を提供している。急な外泊や受診介助、重度化の場合も柔軟に対応している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 必要に応じてボランティアへの呼びかけ、避難練の実地、学校からの資材支援など、協力していたっている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 自宅に帰る為のワンステップとして、ケアハウスやサービス事業者と連帯をとっている。	※	
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価)	※	
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力医療機関と連帯関係にあり、定期健診や必要に応じて受診等行っているが希望のかかりつけ医がいる場合は、受診できるよう支援している。 (外部評価) 利用者や家族の希望に沿って、かかりつけ医やホームの協力医療機関で適切な医療が受けられるよう支援している。また、協力医療機関での定期検診も行っている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力医療機関との連帯関係により、必要に応じて受診、相談を行っている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 職員の看護師が日常の健康管理を行い、異常があれば協力医療機関との連帯により、訪問看護が行われている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 協力医療機関との連帯により早期診療が可能であり、早期退院に向け相談、指示を仰ぐ。入院時は医療機関と協同して連絡を取り合い、早期退院できるよう協力医療機関にも援助を受けながら進めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 協力医慮期間との連帯により早期に相談が出きる、また家族さんらと交え今後の状況について相談している。看取り指針を作成しており、入所時に重度化した場合について説明している。施設での最期を希望する場合には医師のターミナルの指示により看取り開始となる。 (外部評価) 重度化の場合や終末期は協力医療機関の訪問診療や訪問看護で対応が可能であり、このことを利用者や家族にも早めに伝えている。そのための看取り指針も作成している。		
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 医療体系も整っており、いかなる場合においても対応出来る体勢にある。協力医療機関より強力なサポートがいただけるためいつでもチームでの支援ができる状態にある。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他院や他施設等に移る際、事前連絡を行いサマリー作成をしてケアの統一ができるよう対応している。また、状況を聞いて、必要なら訪問を行っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 職員一人ひとりが言葉づかいには十分気をつけている、記録は事務室で行うよう配慮している。 (外部評価) 食事の食べこぼしをさりげなく片づけたり、小声でトイレ誘導を行なう等、職員は言葉づかいや態度に留意し、利用者の誇りを大事にしている。記録も事務室で行い、個人情報の保護に努めている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 本人の思いを聴けるような問いかけを行い説明をしながら出来る限り本人の望む生活が出来るよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 常に本人のペースを優先し、本人の過ごしやすい環境づくりを行っている。 (外部評価) 外出、買い物、入浴などを利用者が希望する方向で支援している。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 声掛けを行い本人の望む髪型、服装には気をつけている。理容においても本人の意見を聞き、訪問理容ではあるが、毛染めやパーマなど、好みにしてもらっている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 常に利用者の好むようなメニュー作りを行っており、出来る方には食事の準備、片付け等行っている。 (外部評価) 食事の献立に利用者の希望を入れ、食卓に花を飾る等して、食事が楽しめるよう工夫している。職員は利用者と一緒に食事をとり、食事の準備や片付けを共に行っている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 利用者の声を聞き、その時の飲みたいもの、また食べたい物を聞き対応している。		
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの排泄パターンを理解しており、定期的な誘導、声掛けを行っている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 基本的に2日に1度の入浴日を決めているが、拒否等見られる場合には曜日をずらして対応している。また、見守りで入浴できる方については好きなだけ入浴している。 (外部評価) 利用者の希望に沿った入浴支援を行っている。介護度の高い利用者に対しては、1階に設置している特殊浴槽での入浴支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 自由な時間を設けており、ゆっくり出来る空間作りを行っている。就寝時も本人の希望に合わせ声掛け、誘導を行っている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 本人の出来ること、出来ないことを把握しており簡単ではあるが役割をもつていただくことにより生活にはりをもつていただいている。 (外部評価) 習字の得意な利用者には掲示物を書いてもらい、カラオケ好きの方には唄うことを勧め、買物を共に楽しむ等の支援をしている。食事の準備、片付け、菜園づくり等の役割も楽しみながら行っている。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人の希望に応じほしい物があれば購入している。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 一人で散歩に出かける方、職員と共に出かける方、畑で収穫してきていただくかた、様々ではあるが戸外に出る支援を行っている。 (外部評価) 生活用品の買物に出かけたり、奥道後までのドライブや外食バイキングを楽しんだり、気軽に散歩に出かける等の楽しみを支援している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) マイクロバス等を使用して、訴えの多い場所に希望者で外出する機会を多く作っている。また、家族の方にも参加してもらえるよう呼びかけている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	(自己評価) 訴えがあれば、その都度対応している。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 自由に面会していただけるような体制を取っている。各居室にて過ごしていただいたり、お茶を出すなど配慮している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) スタッフ一人ひとりが十分理解しており、正しいケアが行われている。ただし、危険を伴う方については、家族の理解をいただいたうえ、拘束を行うことがある。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関、窓等鍵をすることなく自由な空間をつくれている。 (外部評価) 職員は鍵をかけないことの意義を十分理解しており、ホームの玄関は日中、鍵はかけていない。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 常に見守りがいることにより、利用者の様子や安全に配慮している。夜間においても夜勤体制であり、安眠できるよう対応している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人ひとりの状態に応じて危険なものは事務室で管理する等し対応している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) スタッフは、利用者一人ひとりの状態を把握し、危険なもの、そうでないものを判断し、個々に応じて対応している。		
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 急変時、事故発生時に備え、社内研修を行うと共に対応は施設のマニュアルを整備し、スタッフ全員が心得ている。また、月1回の勉強会も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的な避難訓練を行っており、災害時への対応は日々、訓練されている。	※	夜間時の避難訓練を行いたい。
			(外部評価) 定期的な防災訓練を行っているが、夜間を想定した訓練や地域の人々の協力が得られるような訓練は行われていない。	※	夜間を想定しての訓練や地域の人々の協力も考慮した防災訓練を期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) リスクに対する説明を核家族に説明し、家族や本人の意向により、出来るだけ抑圧感なく暮らせる方法を一緒に考えている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝のバイタルチェックや入浴時等により体調や、異変の早期発見に努めている。また、平常時の本人の状態を全員が把握することにより状態の変化を早期に発見できる体制にある。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) スタッフ一人ひとりが、処方薬の目的、副作用を理解しており、自力で服薬できない方においては介助している、また、利用者の体調の状態により飲むべき薬は様子を見るなど、敵宜正しい支援を行っている		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 便秘が及ぼす影響は、スタッフ皆理解できている。食事については、栄養士と相談し工夫したメニュー作りを行っている。他、毎日のリハビリ訓練の実地や水分摂取にも気を配っている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりに合わせた口腔ケアは、毎食後、実地され徹底されている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 利用者の食事量や水分量等は記録として残されている。また、個人に応じて刻む、とろみをつける等配慮されている。担当者によるバランスのとれたメニュー作りもされている。		
			(外部評価) 食事の摂取量などはチェックできている。献立のカロリーや栄養バランスなどのチェックは、関連病院の栄養士が適時行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 各感染症のための勉強会もされており、玄関には、消毒薬、マスクの設置を行っている。また、感染症の流行時にはヒビテン消毒を行う等、細菌やウイルスを広げない努力を行っている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 台所、排水口、まな板、布巾類は毎日塩素消毒されており、食材においても期限切れの場合は速やかに廃棄処分している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関回りは家庭的で近隣の方、家族の方、利用者にとっても出入りしやすくなっている。施設の周りに花を飾るなど、雰囲気作りもされている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 毎日の掃除により衛生管理を徹底している。トイレには芳香剤を設置し、汚染時は速やかに消毒、掃除を行っている。温度、湿度、明るさにも気を使っている。 (外部評価) 共用空間は静かで明るく、気になる臭いもない。居間には手作りの暦や見やすい時計、お手玉、おはじき等があり、利用者の写真等も掲示していて、居心地良い空間である。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 束縛せずリビング、居室等自由に過ごしていただいている。仲のよい方は、なるべく近くで過ごせるよう配慮している。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室へ使い慣れた道具の持ち込みを自由にしていただき、過ごしやすい空間作りに努めている。 (外部評価) 居室には自宅で使っていたテレビ、小箆箆などが持ち込まれ、お気に入りの時計やぬいぐるみ、家族の写真も置いていて、利用者が居心地良く過ごせる部屋になっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 温度、湿度はこまめにチェックし、換気、調整に十分配慮している。必要時には、加湿器、空気清浄機等の使用も行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) スロープ、手すりの設置、段差の解消、身障者のトイレの設備等により自立に向けた生活が送れるよう支援している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 一人一人の力を把握して、援助の度合い等を変えながら説明し、混乱を防ぐよう努めている。		
87		○建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) ベランダにはコンテナ栽培を行い、外では四季折々の野菜の栽培をしており、利用者も交え収穫しおいしくいただくことが出来るよう支援している。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日常の暮らしぶりや、会話をすることにより日々利用者の思いを汲み取りその情報を各職員が共有している、またアセスメントを行うことで把握している。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	個々の居室で、またはリビングで皆さんとお茶したりTVをみたり談話する時間を大切にしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	強制することなく、思い思いの場所で好きなことをしていただいている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の趣味や希望を把握し、合わせた支援をすることで、笑顔や生き生きした表情がみられる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	行きたいところの話しをしながら、お出かけ場所を決定しマイクロバス等を利用して楽に出かけられるよう支援している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	協力医療機関があり、医師や看護師の訪問も行われており定期的に不安を専門家に聞いてもらえることができています。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	体調の変化や気分に応じて、支援の度合いを調整することで安心、満足していただいている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族の思いや希望は出来る限り応えられるよう配慮している。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③たまに 4 ほとんどない	近所の方がお花を届けてくださったり、和紙を下さったりしている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) ③あまり増えていない 4 全くいない	悩みを相談しに来てくださる人も増えたが、運営推進会議の回数も増やして行きたいと思う。
98	職員は、生き活きと働けている	(自己 ①ほぼ全ての職員が 評価) 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	悩みや相談があれば聞き入れている。また、各役割担当にすることにより意識を高め、向上心をもっている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日常生活の支援、相談、健康面、リハビリ、外出、外食、四季折々の行事を行っており、満足していただけていると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ①ほぼ全ての家族等が 評価) 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	各種様々な方面からのサービスを行っており、十分満足していただけていると思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

特徴として、協力医療機関の支援、指導により日々の生活の中にリハビリを取り入れておりQOLの維持、向上に努めている。また、広い畑を利用し入居者、スタッフ皆で四季に応じて種まき、収穫を行っており野菜作りの楽しさを味わっていただけており生活に張りをもってもらえるよう支援している。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- ※用語について
- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
 - 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
 - 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
 - チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 クレセント馬木

(ユニット名) Bユニット

記入者(管理者)
氏名 菅谷 恵子

評価完了日 平成19年 6月12日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 開設時に作成したものであり、地域の中で考えて作られていない。 (外部評価) 平易で分かりやすい、事業所独自の理念である。しかし、利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けることを支援する点で、物足りなさがある。	※	地域の中でを考慮した新しい理念を考える時期にきていると思う。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念が簡単すぎて、すでにクリア出来ていると思われる。 (外部評価) 管理者と職員は理念を十分理解し、日々のケアとも関連づけながら、利用者の支援を行っている。	※	もう1段階レベルアップした理念を考えたい。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 理念を様々に提示しているが、すべての家族が知っているかどうか、疑問である。	※	施設便りや運営推進会議を活用して、理解してもらえよう取り組んでいきたい。
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日常的にあいさつを行い、収穫野菜をおすそわけしたり、不要なものを頂いたりと交流を持っている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 運動会や秋祭りの開催の声かけがあり、参加している。また、施設の行事にも参加していただき交流に努めている。 (外部評価) ホームの行事では近くの小学校からいすを借りたり、近所の人々に参加してもらったり、菜園でつくった野菜をおすそわけする等、地元との交流に努めている。地域の自治会にも加入している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域貢献について、検討中の段階である。	※	施設のリハビリ室の開放や、勉強会・介護教室等の開催、地域の見回り等に取り組んでいきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 出来ている事、出来ていない事を十分に理解し、今後の改善に努めている。 (外部評価) 運営者、管理者、職員は自己評価及び外部評価の意義を理解し、評価をきっかけに今までのケアを振り返り、改善に取り組んでいる。		
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 現在1回しか行われておらず、継続出来ていない。 (外部評価) 運営推進会議の意義や必要性を十分理解し、会議を1回行っているが、その後、開催していない。	※	2ヶ月に1回行っていけるよう計画を立て、サービス向上に活かしたい。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 迷う事、困る事がある時は、市の担当者に聞き実行している。 (外部評価) ホームは運営推進会議の開催にあたり、市の担当者と連絡を取ることはあるが、その他のことでの行き来はない。	※	ホームの運営やケアの質向上に関して、市の担当者に相談する等の働きかけをホームとして積極的に行っていくことを期待する。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 勉強会等で学ぶ機会を持っている。前例はないが、必要がある方には活用出来る様支援している。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員に周知徹底し、防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約・解約時には、時間をとって十分な説明を行い、理解していただける様努めている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 日常生活の中で意見等言える雰囲気作りに努め、運営に反映させるよう努めている。重要事項説明書等には外部者への連絡先等も示している。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 施設便りでの報告のほか、個人的なことは面会時や電話連絡にて報告している。 (外部評価) 利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理等の報告は家族の面会時や毎月発行のホーム便りを家族に送る時に行っている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情受付窓口や意見箱の設置により、意見・苦情の声を聞き、改善していけるよう努めている。 (外部評価) ホーム内に意見箱を設置し、また苦情対応窓口を管理者および公的機関とする旨、重要事項説明書に具体的に明記し、説明している。また、家族等の意見はホームの運営に反映させている。		
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の見解や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 定期的にミーティングを行ったり、改善提案書を作成して機会を設け、反映に努めている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 3ユニットで職員が話し合い、必要時には行き来する調整を行っている。また、勤務表作成の段階で、それぞれ無理なく仕事出来る様希望を聞き入れている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 定期的に面談等行い、悩みを聞いているがやむを得ず離職となる場合は、最小限に抑えられるよう努力している。また、代わる場合は継続したケアが行えるように努めている。 (外部評価) 職員の異動は比較的少ないが、異動時は新たな職員が1週間位見習い勤務することで利用者への影響を少なくする等の工夫をしている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 個々に適した研修を受ける等、勉強できる場を設けている。 (外部評価) 外部の研修会へ職員が参加できるよう声かけをしたり、月1回、3ユニット合同での勉強会を行うことで、職員の学習を促している。		
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 相互の施設見学を行っている。 (外部評価) 地域の同業者と互いに見学をし合う中で、学習を深め、学習したことをホームのケア向上に役立っている。	※	地域の同業者との交流や勉強会の機会を持つことを、今後の取り組みとしたい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 休憩時間にゆっくりくつろげるスペースを確保している。また、職員相互の親睦や、担当者へ悩みの相談も行っている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 個々の努力への声掛けや、個々に合わせた勤務体制をとることで、向上心が持てる様努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 初期の段階で利用者・家族の声を聞き、不安なことや求めていることは何か等聞き入れており、利用者の声に出来る限り答えられるよう配慮している。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前に話を聞くことにより、求めていること等聞き入れており、本人の要望や求めているものとの違いを把握した上で、受けとめる努力をしている。		
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 状態を把握し、何が必要かを見極めサービスを提供している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 家族と相談しながら、本人の状態を把握し、少しずつ場になじめる様配慮している。 (外部評価) 法人施設を総括する事務部長が利用者を入居前に訪問し、馴染みの関係づくりに努めている。また、入居後は自宅での暮らしぶりを参考に、ホームに馴染めるよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 本人の趣味や得意なことを理解し、学ばせてもらったり、困っていることに協力したりと、相互が支えあう関係作りに努めている。 (外部評価) 職員は利用者から料理法、菜園づくり、ことわざ等を学んだり、一緒にトランプを楽しむ中で、共に支えあう関係を築き、仲良く暮らしている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 相互の情報を交換し、相談・時間を共有する等工夫して関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 面会時は互いに自由な時間を過ごしていただき、これまでの関係を継続していけるよう配慮している。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 電話や便り等利用し連絡をとったり、話題にだして、忘れないことへの働きかけも行っている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) レクや家事等において共同作業を行うことで、利用者同士の関わりや支え合いの支援に努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) サービス終了後も必要な場合は、近況報告や相談を受ける等連絡を取り合っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日常生活の中で、またはカンファレンスの際には必ず、思い等の希望を訊ね、把握に努めている。 (外部評価) 利用者の思いや希望を日々の暮らしの中で把握するように努め、職員が把握した情報は申し送り帳や個人記録、情報記入用紙に記載し、全職員で共有し、検討している。		
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) アセスメントシート、センター方式等活用し、日常生活でも本人・家族・友人からの情報収集を行い、それを職員皆が共有出来る様記録し、把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 日々の記録の活用や、職員間で連携を図り把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 本人・家族・職員・ケアマネジャー等の声を聞き、希望に添える生活をしていただける様カンファレンスをしっかり行った上で計画作成している。 (外部評価) 介護計画は利用者や家族の希望を聞き、職員、ケアマネジャー等の声も入れてカンファレンスを行い、作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 定期的に、または変化が生じた場合は、カンファレンスを行い、新たなプランを作成している。 (外部評価) 介護計画は利用者や家族、職員などの声を大切にしながら定期的に見直している。利用者の急な状態変化時は、その都度見直すことにしている。		
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 介護計画に沿った記録を残し、情報の共有や計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) リハビリ室や特浴などの設備があり、個人の状態に応じて柔軟に支援している。 (外部評価) 多種類のサービスの提供ではなく、利用者や家族の暮らしを守るための多様な支援を提供している。急な外泊や受診介助、重度化の場合も柔軟に対応している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ボランティアの受け入れや要請、消防署員による避難訓練等、協力して支援している。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 自宅に帰るためのワンステップとして、ケアハウス等のケアマネジャーやサービス事業者と連携をとっている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 今後、地域包括支援センターとの協働に取り組んでいきたい。	※	運営推進会議への参加の呼びかけや、権利擁護や成年後見制度活用時の相談等行っていきたい。
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 協力医療機関または、希望するかかりつけ医との連携を密にとり、定期健診など適切に受けられるよう支援している。 (外部評価) 利用者や家族の希望に沿って、かかりつけ医やホームの協力医療機関で適切な医療が受けられるよう支援している。また、協力医療機関での定期検診も行っている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力医療機関との連携により、必要に応じて受診・相談等行っている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 協力医療機関があり、看護職員が利用者をよく知った上での健康管理等の支援が出来ている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時は、医療機関と協働して連絡を取り合い、早期退院出来る様、協力医療機関にも援助を受けながら進めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 看取り指針を作成しており、入所時に、重度化した場合について説明している。施設での最期を希望する場合には医師のターミナルの指示により、看取り開始となる。 (外部評価) 重度化の場合や終末期は協力医療機関の訪問診療や訪問看護で対応が可能であり、このことを利用者や家族にも早めに伝えている。そのための看取り指針も作成している。		
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 協力医療機関より強力なサポートがいただけるため、いつでもチームでの支援が出来る状態にある。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他院や他施設へ移る際、事前連絡やサマリーを作成して、ケアの統一が出来る様対応している。また、状況を聞いて、必要ならば訪問を行っている。		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 職員一人ひとりが言葉使いには十分気をつけている。記録は事務室で行うよう配慮している。 (外部評価) 食事の食べこぼしをさりげなく片づけたり、小声でトイレ誘導を行なう等、職員は言葉づかいや態度に留意し、利用者の誇りを大事にしている。記録も事務室で行い、個人情報の保護に努めている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 希望を表せる声掛け、雰囲気作りに努め、理解し、自分で決め暮らせる様支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 強制するような声掛けはせず、個々のペース、希望にあわせ、過ごせるよう支援している。 (外部評価) 外出、買い物、入浴などを利用者が希望する方向で支援している。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 訪問理・美容を利用し、毛染めやパーマ等本人の好みにしてもらっている。希望があれば望む店に行ける支援をしている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一人ひとりが協力、助け合いながら、準備・片付けをし、食事と一緒にしている。 (外部評価) 食事の献立に利用者の希望を入れ、食卓に花を飾る等して、食事が楽しめるよう工夫している。職員は利用者と一緒に食事をとり、食事の準備や片付けを共に行っている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 好みのものを個々に楽しめるよう支援している。		
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 食事・水分の工夫、排泄パターンの把握に努め、気持ちよく排泄出来る様支援している。必要な方には誘導、声掛けを行っている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 曜日・時間帯は決まっているが、希望やタイミングに合わせるよう努めている。制限時間はなく好きなだけ入ってもらっている。 (外部評価) 利用者の希望に沿った入浴支援を行っている。介護度の高い利用者に対しては、1階に設置している特殊浴槽での入浴支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 安心して休める生活空間作りや、声掛けに努めている。必要に応じて眠剤も導入している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの生活歴を知り、役割りを持ったり、カラオケ・買い物・習字等の楽しみ事や気晴らしの支援をしている。 <hr/> (外部評価) 習字の得意な利用者には掲示物を書いてもらい、カラオケ好きの方には唄うことを勧め、買物を共に楽しむ等の支援をしている。食事の準備、片付け、菜園づくり等の役割も楽しみながら行っている。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 一人ひとりの希望や力に応じて、所持したり、使う機会を作る支援をしている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) ドライブや買い物・喫茶等、希望に沿って出掛けられる様支援している。施設内の畑や施設周囲は自由に出入りされ、そっと見守りを行っている。 <hr/> (外部評価) 生活用品の買物に出かけたり、奥道後までのドライブや外食バイキングを楽しんだり、気軽に散歩に出かける等の楽しみを支援している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 行きたい所の希望を募ったり、提案したりして、外出の機会を作っている。マイクロバスがあり、家族を含めた大勢での外出も可能である。	※	家族を含めた食事会等も行っていきたい。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	(自己評価) 希望時にはいつでも出来る様、支援している。	※	希望時だけでなく、あいさつ事等、こちらからも促していきたい。


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 明るいあいさつ・近況報告等の話す機会、本人とゆっくり過ごしてもらえる雰囲気作りに努めている。		
(4)安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員に周知徹底している。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員に周知徹底しており、玄関は夜間以外、開放している。 (外部評価) 職員は鍵をかけないことの意義を十分理解しており、ホームの玄関は日中、鍵はかけていない。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 常に見守りがいることにより、利用者の様子や安全に配慮している。夜間においても夜勤体制であり、安眠できるよう対応している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人ひとりの状態に応じて、保管場所を伝え、可能な方にはいつでも使える状態にしている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 勉強会等で知識や対策を学び、事故防止に全員で取り組んでいる。	※	ヒヤリハットを活用して、更に事故防止に努めたい。
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 定期的にはまたは、新入社員が入る毎に勉強会を行うとともに、マニュアルを作成し、対応出来る様にしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的に避難訓練を行っており、避難場所の把握等も徹底している。 (外部評価) 定期的に防災訓練を行っているが、夜間を想定した訓練や地域の人々の協力が得られるような訓練は行われていない。	※ ※	地域の人も交えた避難訓練を行っていきたい。 夜間を想定しての訓練や地域の人々の協力も考慮した防災訓練を期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) リスクに対する説明を各家族に説明し、家族や本人の意向により、出来るだけ抑圧感なく暮らせる方法を一緒に考えている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝や入浴時のバイタルチェック等により、体調や異変の早期発見に努めている。また、平常時の本人の状態を全員が把握することにより、状態の変化を早期に発見出来る様努めている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) スタッフ全員が処方薬の目的、副作用を理解しており、自力で服薬出来ない方については投薬介助している。また、利用者の体調の状態によって、飲むべきではない薬は様子を見るなど適宜正しい支援を行っている。		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食事・運動・水分・ツボ等、様々な工夫に取り組んでいる。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 個々に意識を持っていただき、声掛け等で促している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量、水分量等は記録として残されている。また、個々に応じて刻む、とろみをつける等配慮されている。担当者によるバランスのとれたメニュー作りもされている。 (外部評価) 食事の摂取量などはチェックできている。献立のカロリーや栄養バランスなどのチェックは、関連病院の栄養士が適時行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 予防・対応のマニュアルがあり、周知徹底している。面会者にも、マスク着用やウェルバスの消毒等の呼びかけをしている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 台所・調理用具は毎日、洗浄・消毒を行い、衛生管理に努めている。食材も、適切な保存法や消費期限を確認し、食中毒予防に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) きれいな状態を保ち、花を飾る等、出入りしやすい雰囲気作りや障害物の除去に努めている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 定期的に設備を点検し、改善に努めている。生活しやすい物品の配置や、季節のものを取り入れている。 (外部評価) 共用空間は静かで明るく、気になる臭いもない。居間には手作りの暦や見やすい時計、お手玉、おはじき等があり、利用者の写真等も掲示していて、居心地良い空間である。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 施設内の様々な場所にイスを設置しており、思い思いの場所でくつろげる工夫をしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室への、使い慣れた道具の持ち込みを自由にしていただき、過ごしやすい空間作りに努めている。 (外部評価) 居室には自宅で使っていたテレビ、小箆箆などが持ち込まれ、お気に入りの時計やぬいぐるみ、家族の写真も置いていて、利用者が居心地よく過ごせる部屋になっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 温度・湿度はこまめにチェックし、換気・調節に十分配慮している。必要時には加湿器・空気清浄機の設置も取り入れている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) スロープ・手すりの設置、段差の解消、身障者トイレの設備等で、自立した生活が送れるよう支援している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 一人ひとりの力を把握して、援助の度合い等を変え、説明しながら、混乱を防ぐよう努めている。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 洗濯物を干したり、園芸・畑仕事を一緒に出来る取組みをしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日常の暮らしぶりや会話から、汲み取る努力をしたり、アセスメントを行うことで把握している。
89	利用者とは職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	個々の居室で、またはリビングで皆さんと、お茶したりTV見たり談話する時間を大切にしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	強制することではなく、思い思いの場所で、好きなことをして暮らしていただいている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の趣味や希望を把握し、合わせた支援をすることで、笑顔や生き生きした表情が見られる。
92	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	買い物や外食等の希望を尋ね、行き先を決定している。マイクロバス等を利用して、楽に出かけられるよう支援している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	協力医療機関があり、医師・看護師の訪問も行われて居り、定期的に不安を専門家に聞いてもらえる体制にある。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	体調の変化や気分に応じて、支援の度合いを調整することで、安心・満足して暮らしていただいている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	1 ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族の思いや希望をよく聴いて把握に努めているが、面会が少ない家族への対応は連絡のみの為、不十分に思う。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③たまに 4 ほとんどない	地域の方がお花や不要になったものを届けてくださる。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) ③あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議の継続した開催が行われていなかった為、理解してもらう機会が少なかった。
98	職員は、生き活きと働けている	(自己 ①ほぼ全ての職員が 評価) 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	悩みや不安を聞く機会を設けたり、職員間の親睦目的に食事会を行ったりしてストレスの解消を図り、朝のあいさつから気持ちよく、利用者と楽しく、仕事ができるよう働きかけている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりの希望に添えるサービス提供に努めることで、利用者から感謝の声も聞くことができる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ①ほぼ全ての家族等が 評価) 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	本人の暮らしぶりや出来事を報告したり、家族の思いや希望にも添えるよう努めており、家族からも暖かく支援していただいている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- ※用語について
- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
 - 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
 - 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
 - チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 クレセント馬木

(ユニット名) Cユニット

記入者(管理者)
氏名 今井 康子

評価完了日 平成19年 6月12日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 開設時に作成したものであるため地域密着として考えては、作られていない	※	地域密着サービスを考慮した新しい理念を考えようと思う
			(外部評価) 平易で分かりやすい、事業所独自の理念である。しかし、利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けることを支援する点で、物足りなさがある。	※	利用者が地域の中で暮らし続けることを念頭におき、さらに分かりやすい理念となるよう、全職員で検討することを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念が簡単な取り組みやすくすでにクリアできている		もう1段階レベルアップした理念を考えたい
			(外部評価) 管理者と職員は理念を十分理解し、日々のケアとも関連づけながら、利用者の支援を行っている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 理念を様々な所に提示しているがすべての家族が理解しているかどうかは、解らない		
2. 地域との支えあい					
4		○近隣者とのつきあい 管理者や職員は、近隣者の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 定期的な地域交流の場を設けており、気軽な付き合いが出来るよう努めている。また、日常の挨拶や畑でとれた野菜のおすそ分け等行っている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域行事では、夏祭りや運動会や秋祭りなど地域の方々にも参加していただき地域交流に努めている		
			(外部評価) ホームの行事では近くの小学校からいすを借りたり、近所の人々に参加してもらったり、菜園でつくった野菜をおすそわけする等、地元との交流に努めている。地域の自治会にも加入している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域の方々を交えた勉強会を検討中である		リハビリ室の開放、認知症のケア、予防の仕方など
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 出来ている事、又出来ていない事を十分に理解し話し合い今後の改善に努めている (外部評価) 運営者、管理者、職員は自己評価及び外部評価の意義を理解し、評価をきっかけに今までのケアを振り返り、改善に取り組んでいる。		
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 今までに一回しか行われていないので、継続されていない。 (外部評価) 運営推進会議の意義や必要性を十分理解し、会議を1回行っているが、その後、開催していない。	※	2ヶ月に1度は行っていけるよう計画し実行していきたい 近日中に開催予定の運営推進会議で、今回の外部評価の結果なども報告し、ホームのサービス向上に活かせる会議を継続して開くことを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 困ることがある際は、市の担当者に関き実行している (外部評価) ホームは運営推進会議の開催にあたり、市の担当者と連絡を取ることはあるが、その他のことでの行き来はない。	※	ホームの運営やケアの質向上に関して、市の担当者に相談する等の働きかけをホームとして積極的に行っていくことを期待する。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 前例は、ないが皆が地域権利擁護事業、また成年後見制度を理解しており、必要のある方には活用できるよう支援している。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員が周知徹底し、実行できている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 事前に十分な説明を行っており、理解、納得を得ている		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 常に利用者の声を聞き、問題への解決に努めている。また、重要事項説明書等には外部者への連絡先等も示している。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会時や、定期的な家族様への便りを通じ個々の報告を行っている。 (外部評価) 利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理等の報告は家族の面会時や毎月発行のホーム便りを家族に送る時に行っている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱を設置し意見、苦情の声を聞き改善していけるよう努めている。 (外部評価) ホーム内に意見箱を設置し、また苦情対応窓口を管理者および公的機関とする旨、重要事項説明書に具体的に明記し、説明している。また、家族等の意見はホームの運営に反映させている。		
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の見解や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 定期的にミーティングを行い職員の声を聞き入れている。また、改善提案書を一人一人に書いてもらい、より良い施設作りに努めている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 常勤、パートの確保により勤務状態は、確保されている。勤務表もそれぞれ無理なく仕事できるよう1週間ごとに希望を聞き入れ、作成している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 定期的に面談を行い悩みは、聞いているがやむをえず離職となる場合においても利用者への負担を最小限に抑えられるよう配慮している。 (外部評価) 職員の異動は比較的少ないが、異動時は新たな職員が1週間位見習い勤務することで利用者への影響を少なくする等の工夫をしている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 個々に適した勉強会や研修会への参加を呼びかけている。 (外部評価) 外部の研修会へ職員が参加できるよう声かけをしたり、月1回、3ユニット合同での勉強会を行うことで、職員の学習を促している。		地域の同業者との交流や勉強会をもつことを今後の課題としている
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 地域の同業者と互いに施設見学を行いネットワークを持ちお互いの事業に協力しあっている。 (外部評価) 地域の同業者と互いに見学をし合う中で、学習を深め、学習したことをホームのケア向上に役立てている。		地域の同業者との交流や勉強会をもつことを今後の課題としている
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員の悩みやストレス、人間関係を把握するように努めたり勤務時間にも気分転換できるよう休憩室を確保したりしている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 職員が資格を取っていける様な支援を行い向上心を持って働けるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 初期の段階で利用者や家族の声を聞き、不安なことは何か、求めていることは何か聞き入れて利用者の声に出来る限り答えられるように配慮している。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族が求めているものを聞き本人の要望や求めているものとの違いを把握したうえで受け止める努力をしている。		
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 状態を把握し何が必要かを見極めサービスを提供している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 家族と相談し本人のために家族、職員がどう動くべきかを状態を見ながら調整している。 <hr/> (外部評価) 法人施設を総括する事務部長が利用者を入居前に訪問し、馴染みの関係づくりに努めている。また、入居後は自宅での暮らしぶりを参考に、ホームに馴染めるよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 本人の得意な事、苦手な事等を把握し上手に教えてもらったり助言したりしながらお互いの必要性を感じられるようにする。 <hr/> (外部評価) 職員は利用者から料理法、菜園づくり、ことわざ等を学んだり、一緒にトランプを楽しむ中で、共に支えあう関係を築き、仲良く暮らしている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 相互の情報を交換し、相談、時間を共有する工夫をして関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 面会時には、互いに自由な時間を過ごしていただきこれまでの関係を持続できるよう配慮している。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 電話や便りを利用し情報交換を行い今までの関係が途切れないように支援している。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係を把握しレクリエーション等の参加を呼びかけ孤立しない共同生活への理解を努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 現在の状態を把握するために訪問したり電話をするなどしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) カンファレンスを行うことにより個々の生活レベル、また希望に添える生活をしていただけるよう配慮している。 (外部評価) 利用者の思いや希望を日々の暮らしの中で把握するように努め、職員が把握した情報は申し送り帳や個人記録、情報記入用紙に記載し、全職員で共有し、検討している。		
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) アセスメントシート、センター方式等を活用し日常生活でも本人、家族、友人から情報収集を行いそれを職員が共有できるよう記録し把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 日々の記録の活用や、職員間で連携を図り把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 本人、家族、職員、ケアマネ等の声を聞きサービスを計画し、よりよい生活が出来るようカンファレンスを行った上で計画作成している。 (外部評価) 介護計画は利用者や家族の希望を聞き、職員、ケアマネジャー等の声も入れてカンファレンスを行い、作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 定期的な計画の見直し、また急変時にはカンファレンスを行い、新たなプランを作成している。 (外部評価) 介護計画は利用者や家族、職員などの声を大切にしながら定期的に見直している。利用者の急な状態変化時は、その都度見直すことにしている。		
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 利用者の日々の生活で気がついたこと、うまく言ったことは記録し、計画の見直しに活用している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) リハビリ室や特浴や畑などがあり、そのときの要望似合わせ支援している。 (外部評価) 多種類のサービスの提供ではなく、利用者と家族の暮らしを守るための多様な支援を提供している。急な外泊や受診介助、重度化の場合も柔軟に対応している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 必要に応じてボランティアへの呼びかけ、避難訓練の実施し学校からの資材支援など、協力している。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 自宅に帰る為のワンステップとして、ケアハウス等のケアマネやサービス事業所と連携をとっている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価)		
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 協力医療機関と連帯関係にあり、定期健診や必要に応じて受診等を行っているが、希望のかかりつけの病院がある場合は、受診できるよう支援している。 (外部評価) 利用者や家族の希望に沿って、かかりつけ医やホームの協力医療機関で適切な医療が受けられるよう支援している。また、協力医療機関での定期検診も行っている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力医療機関との連帯関係により、必要に応じて受診し相談している。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 異変があれば、職員や看護師が日常の健康管理を行い協力医療機関との連携をとり、往診や訪問看護をしている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時は、医療機関との協力して連絡をとり、早く退院が出来るよう協力医療機関に相談しながら進めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 看取り指針を作成しており、入所時に重度化した場合について説明している為、施設での最期を希望する場合は医師のターミナルの指示により、速やかに行っている。 (外部評価) 重度化の場合や終末期は協力医療機関の訪問診療や訪問看護で対応が可能であり、このことを利用者や家族にも早めに伝えている。そのための看取り指針も作成している。		
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 協力医療機関より、強力なサポートがいただける為いつでもチームでの支援が出来る状態にしている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他院や他施設に移る祭、事前に連絡があり、サマリーを作成しケアの統一が出来るよう対応している。又状況に応じて、必要なら訪問看護を行っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 職員が一人一人が言葉使いには十分気をつけている記録は事務室で行うよう配慮している。 (外部評価) 食事の食べこぼしをさりげなく片づけたり、小声でトイレ誘導を行なう等、職員は言葉づかいや態度に留意し、利用者の誇りを大事にしている。記録も事務室で行い、個人情報の保護に努めている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 本人の希望を聞きながら、説明をし出来る限り本人の望む生活が出来るよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 常に本人のペースによを優先し、本人の過ごしやすい環境作りを行っている。 (外部評価) 外出、買い物、入浴などを利用者が希望する方向で支援している。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 本人の望む髪型、服装を聞き、特に理容においては、本人の意見を聞き、訪問理容ではあるが、毛染めやパーマなど、自分の好みにして頂いている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 常に利用者の好むようなメニューを作成し、お手伝いが出来る方には食事の準備や、後片付け等をして頂いている。 (外部評価) 食事の献立に利用者の希望を入れ、食卓に花を飾る等して、食事が楽しめるよう工夫している。職員は利用者と一緒に食事をとり、食事の準備や片付けを共に行っている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 利用者の声を聞き、その時飲みたいもの、また食べたいものを聞き、対応している。		
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの排泄パターンを理解していき、定期的な誘導、及び声掛けを行っている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 基本的に2日に1度の入浴日を決めてはいるが、拒否等見られる場合には曜日をずらして対応している。また、見守りで入浴出来る方については好きなだけ入って頂いている。 (外部評価) 利用者の希望に沿った入浴支援を行っている。介護度の高い利用者に対しては、1階に設置している特殊浴槽での入浴支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) (外部評価) 習字の得意な利用者には掲示物を書いてもらい、カラオケ好きの方には唄うことを勧め、買物を共に楽しむ等の支援をしている。食事の準備、片付け、菜園づくり等の役割も楽しみながら行っている。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) (外部評価) 生活用品の買物に出かけたり、奥道後までのドライブや外食バイキングを楽しんだり、気軽に散歩に出かける等の楽しみを支援している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) (外部評価) 職員は鍵をかけないことの意義を十分理解しており、ホームの玄関は日中、鍵はかけていない。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)		
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価)		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的にナ避難訓練を行っており、火災時への対応は日々訓練されている。 (外部評価) 定期的に防災訓練を行っているが、夜間を想定した訓練や地域の人々の協力が得られるような訓練は行われていない。	※	夜間を想定しての訓練や地域の人々の協力も考慮した防災訓練を期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) リスクに対する説明を各家族に説明し、家族や本人の意向により、出来るだけ抑圧感なく暮らせる方法を一緒に考えている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝のバイタルチェックを行うことにより、本人の平常時のバイタルを把握でき、それにより、異変の早期発見が出来る体制をとっている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方薬の作用、副作用を理解し、利用者の状態によって飲むべきではない薬は様子観察するなどして適宜判断している。		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 便秘が及ぼす影響は、スタッフが皆理解している。食事については、担当者が栄養士と相談したメニュー作りを行っている。また、毎日の訓練の実施や水分摂取にも気を配っている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりに合わせた口腔ケアは、毎食後実施されている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 利用者の食事量や水分量は記録として残されている。また、個人に応じて刻む、とろみをつける等配慮されている。担当者によるバランスのとれたメニュー作りもされている。 (外部評価) 食事の摂取量などはチェックできている。献立のカロリーや栄養バランスなどのチェックは、関連病院の栄養士が適時行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取組みがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 各感染症の為に勉強会もされており、玄関には消毒薬、マスクの設置を行っている。また、外部で感染症の流行時にはヒビテン消毒を行う等、最近やウイルスを広げない努力を行っている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 台所、排水口、まな板、ふきん類は、毎日塩素消毒し、食材においても期限切れの場合は速やかに廃棄処分している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関周りは家庭的で近隣の方、家族の方、利用者にとっても出入りしやすくなっている。施設の周りに花を飾るなど、雰囲気作りもされている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 毎日の掃除により、衛生管理を徹底している。トイレには芳香剤を設置し、汚染時は消毒、掃除を行っている。温度、湿度、明るさにも気をつけている。 (外部評価) 共用空間は静かで明るく、気になる臭いもない。居間には手作りの暦や見やすい時計、お手玉、おはじき等があり、利用者の写真等も掲示していて、居心地良い空間である。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 束縛せずリビング、居室等自由に過ごしていただいている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室で使い慣れた道具の持ち込みを自由にして頂き、過ごしやすい空間作りに努めている。 (外部評価) 居室には自宅で使っていたテレビ、小箆箆などが持ち込まれ、お気に入りの時計やぬいぐるみ、家族の写真も置いていて、利用者が居心地よく過ごせる部屋になっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待し たい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう 換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差 がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこ まめに行っている	(自己評価) 温度、湿度はこまめにチェックし、換気、調整に 十分配慮している。必要時には、加湿器、空気洗 浄器など使用している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし て、安全かつできるだけ自立した生活が送れ るように工夫している	(自己評価) スロープ、手すりの設置、段差の解消、身障害者 のトイレの設備等により自立に向けた生活が送れ るようにしえんしている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や 失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫し ている	(自己評価) 一人一人の力を把握して、援助の度合胃を変えな がら説明し、混乱を防ぐようつとめている。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しん だり、活動できるように活かしている	(自己評価) ベランダにはコンテナ栽培を行い、外では四季 折々の野菜の栽培をされており、利用者也交え収穫 して、おいしく頂くことが出来るよう支援してい る。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日常の暮らしぶりや、会話をすることにより日々利用者の思いを汲み取り、その情報を各職員が共有している。またアセスメントを行うことで把握している。
89	利用者とは職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	個々の居室で、またはリビングで皆さんとお茶したり、TVを見たり、談話する時間を大切にしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	強制することなく、思い思いの場所で好きなことをして頂いている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の趣味や希望を把握し、あわせた支援をすることで、笑顔や生き生きした表情が見られる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	行きたいところの話をしたりしながら、お出かけ場所を決定し、マイクロバスを利用して出かけられるようにしている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	挙力医療機関があり、医師や看護師の訪問も行われており定期的に不安。聞いてもらえる
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	体調の変化や気分に応じて、しえんの度合胃を調整することで安心、満足していただいている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない	家族の思いや希望は出来る限り応えられるよう配慮している。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない	近所の方がお花をと置いていただいたり、和紙をくださったりしている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) ③あまり増えていない 4 全くいない	悩みを相談しにくる人も増えているし運営推進会議の回数をもっと増やしていきたいと思う。
98	職員は、生き活きと働けている	(自己 ①ほぼ全ての職員が 評価) 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	悩みや不安を聞く機会を設けたり、職員間の親睦目的に食事会を行ったりしてストレスの解消を図り、朝の挨拶から気持ちよく、利用者と楽しく、仕事ができるよう働きかけている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人一人の希望に添えるサービス提供に努めることで、利用者から感謝の声も聞くことができる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ①ほぼ全ての家族等が 評価) 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	本人の暮らしぶりや出来事を報告したり、家族の思いや希望にも添えるよう努めており、家族からも暖かく支援していただいている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)